

第二地銀協地銀の平成29年度中間決算の概要について

〔平成29年12月14日〕  
〔一般社団法人 第二地方銀行協会〕

会員行の平成29年度中間決算（単体）の概要は以下のとおり。

（注）計数は平成29年9月末時点の会員行41行ベース（特記ある場合を除く）。

## 1. 損益概況

会員行の平成29年度中間決算は、業務純益、経常利益および中間純利益のいずれも減益となった。

業務純益は、資金利益および国債等債券関係益の減少等により、1,017億円と前年同期比△203億円、△16.6%の減益となった。

経常利益は、個別貸倒引当金繰入額が減少および株式等関係益が増加したものの、業務純益の減益を受け、1,210億円と同△74億円、△5.8%の減益となった。

中間純利益は、895億円と同△59億円、△6.2%の減益となった。

因みに、コア業務純益は、961億円と同△64億円、△6.2%の減益となった。

## 2. 業務純益の状況

### (1) 資金利益（4,087億円、前年同期比△131億円、△3.1%）

資金利益は、前年同期比△131億円、△3.1%減少して、4,087億円となった。

この内訳をみると、預貸金収支は、貸出金が増加したものの、預貸金利鞘の縮小により、同△85億円、△2.6%減少して、3,166億円となった。

また、有価証券利息配当金は、同△36億円、△3.7%減少して、940億円となった。

### (2) 役務取引等利益（329億円、同△10億円、△2.9%）

役務取引等利益は、投信窓販業務手数料および預金・貸出金業務手数料等が増加したものの、保険窓販業務手数料等の減少により、同△10億円、△2.9%減少して、329億円となった。

### (3) その他業務利益（105億円、同△159億円、△60.2%）

その他業務利益は、国債等債券関係益等の減少により、同△159億円、△60.2%減少して、105億円となった。

### (4) 経費（3,518億円、同△62億円、△1.7%）

経費は、人件費および物件費の減少により、同△62億円、△1.7%減少して、3,518億円となった。

### 3. 経常利益および中間純利益の状況

経常利益は、業務純益の減益を受け、1,210億円と前年同期比△74億円、△5.8%となり、中間純利益は、895億円と同△59億円、△6.2%の減益となった。

### 4. 与信関係費用の状況

与信関係費用は、前年同期比△101億円減少して、33億円の戻入となった。

また、金融再生法開示債権（破産更生等債権、危険債権、要管理債権の合計）は、前年度末比△444億円、△4.0%減少して、1兆614億円となった。開示債権比率は、同△0.12%ポイント低下し、2.03%となった。

### 5. 単体自己資本比率（国内基準40行ベース）

単体自己資本比率は、自己資本の増加により、前年度末比+0.02%ポイント上昇し、9.49%となった。

### 6. 預金および貸出金

#### (1) 預金（66兆5,317億円）

預金は、前年同期末比+1兆5,446億円、+2.4%増加して、66兆5,317億円となった。預金者別にみると、要求払預金を中心に一般法人預金および個人預金のいずれも増加した。

#### (2) 貸出金（51兆4,499億円）

貸出金は、同+1兆6,632億円、+3.3%増加して、51兆4,499億円となった。貸出先別にみると、中小企業向けを中心とした法人向け貸出、個人向けおよび地方公共団体向けのいずれも増加した。

### 7. 平成29年度通期業績予想（業績予想を公表している40行ベース）

平成29年度通期業績については、経常利益は増益予想が10行、減益予想が29行、横ばい予想が1行である。

また、当期純利益は増益予想が9行、減益予想が31行である。

	増益予想	減益予想	横ばい予想
経常利益	10行	29行	1行
当期純利益	9行	31行	0行

以 上